

令和4年5月9日～5月15日までの全国の暑さ指数(WBGT)の観測状況 及び熱中症による救急搬送人員数と暑さ指数(WBGT)の関係について (令和4年度第2報)

1. 全国の暑さ指数(WBGT)の観測状況について

5月9日～5月15日の6都市(注1)の日最高暑さ指数(WBGT)の平均値は、変化が激しく、「注意」を示す21以上25未満となる日もありました。6都市の10年間平均値と比較すると、9日と15日は4程度低くなりましたが、10日から14日にかけては最大2程度高くなりました(図1、表1参照)。

11都市(注2)では、那覇で「厳重警戒」を示す28以上となる日があり、東京、鹿児島でも「警戒」を示す25以上28未満となる日がありました(表1、表2参照)。

全国を見ると、東北地方以南で25以上、沖縄地方では28以上となる日がありました。

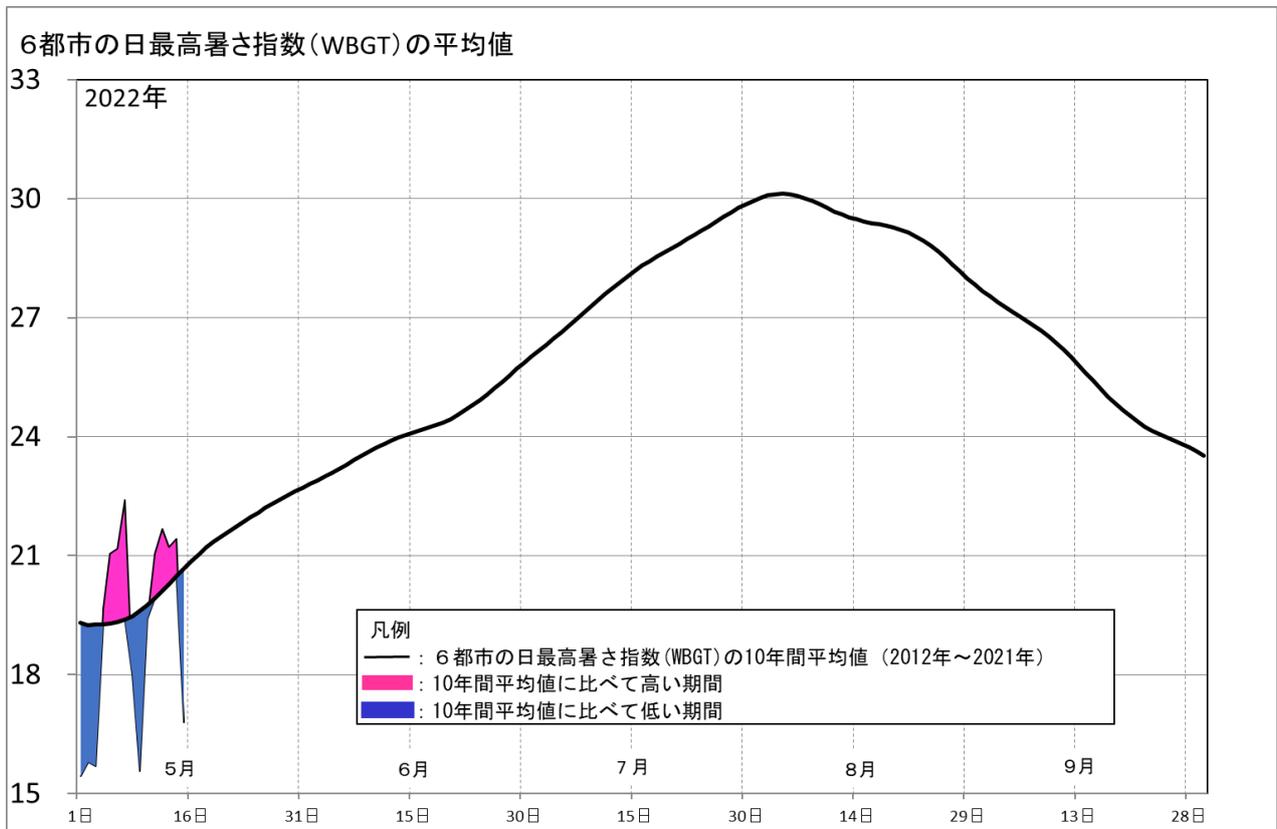


図1 全国の暑さ指数(WBGT)の動向と過去10年間平均値との比較

表1 全国11都市(注2)の日最高暑さ指数(WBGT)(5月9日～5月15日)(注3)

日	札幌	仙台	新潟	東京	名古屋	大阪	広島	高知	福岡	鹿児島	那覇	6都市平均
9	12.0	14.9	13.7	15.0	14.3	12.6	17.2	18.5	20.6	24.3	25.0	15.6
10	18.6	16.4	15.9	20.2	20.3	21.1	17.4	20.9	21.5	23.6	25.8	19.4
11	17.4	20.0	19.0	20.9	20.1	22.9	20.8	21.1	22.6	22.8	27.7	21.1
12	20.3	20.8	22.0	25.1	21.1	19.8	19.9	20.4	22.1	23.1	28.7	21.7
13	16.9	19.1	23.9	20.3	21.5	21.7	19.9	21.2	20.0	22.3	26.2	21.2
14	20.8	23.6	19.2	25.2	21.8	20.9	20.1	24.8	21.3	25.2	24.3	21.4
15	14.2	16.0	17.4	16.4	14.7	16.9	16.1	18.3	19.3	18.4	24.0	16.8

注1 6都市：東京都、大阪市、名古屋市、新潟市、広島市、福岡市

注2 11都市：札幌市、仙台市、新潟市、東京都、名古屋市、大阪市、広島市、高知市、福岡市、鹿児島市、那覇市

注3 表1、表2の値は速報値であり、年度末に発表される確定値とは異なる場合があります。

表2 全国11都市の5月9日～5月15日の暑さ指数(WBGT)超過時間数(注3)

超過時間数	札幌	仙台	新潟	東京	名古屋	大阪	広島	高知	福岡	鹿児島	那覇
31以上	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
28以上	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5
25以上	0	0	0	4	0	0	0	0	0	1	50

ほぼ安全	注意	警戒	嚴重警戒	危険
21未満	21以上25未満	25以上28未満	28以上31未満	31以上

2. 6都市の日最高暑さ指数(WBGT)と熱中症による救急搬送人員数(全国)との関係

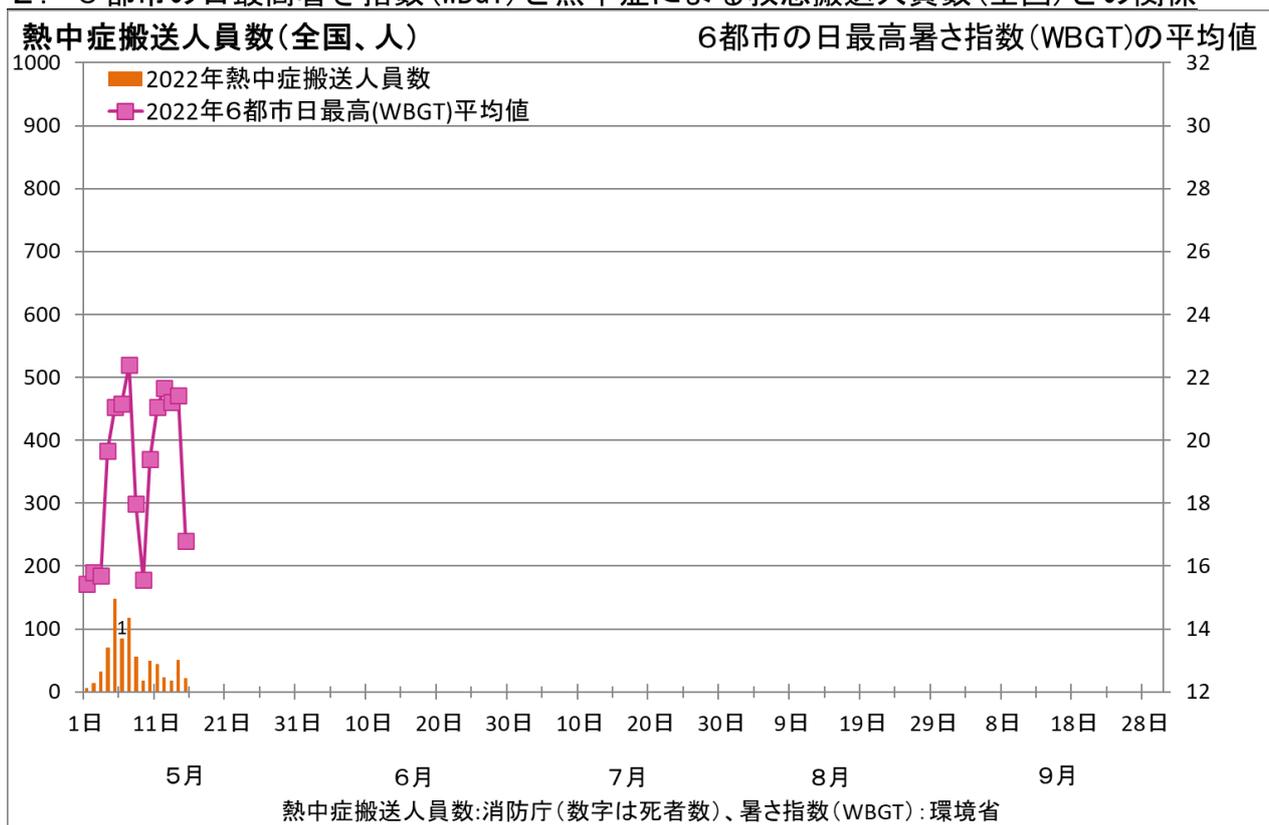


図2 6都市の日最高暑さ指数(WBGT)の平均値と熱中症搬送人員数の推移

5月9日から5月15日までの6都市(注1)の日最高暑さ指数(WBGT)の平均値は、変化が激しく、「注意」を示す21以上25未満となる日もありました。(表1、図1)。

消防庁発表の速報によると、熱中症による救急搬送人員数は、5月14日の50名が最高で、この期間の総数は220人となりました(図2)。

3. 全国の熱中症警戒アラートの発表状況

5月9日から5月15日まで、熱中症警戒アラート発表が発表された地域はありません(表3)。

表3 全国の熱中症警戒アラート発表状況(5月9日から5月15日)

地方 ^{※1}	北海道	東北	関東甲信	東海	北陸	近畿
域内平均 ^{※2}	0	0	0	0	0	0
のべ回数	0	0	0	0	0	0
地方 ^{※1}	中国	四国	九州北部 ^{※3}	九州南部・奄美	沖縄	
域内平均 ^{※2}	0	0	0	0	0	
のべ回数	0	0	0	0	0	

※1：気象庁の地方予報区単位(別図参照)

※2：「地方内府県予報区の1週間ののべ発表回数」÷「地方内府県予報区数」
回数は前日17時、当日5時どちらかの発表で1回とカウント

※3：九州北部には山口県も含まれる

4. 今後の見通しと注意点

5月20日までは、東北地方以南では「警戒」を示す25以上、小笠原地方では「嚴重警戒」を示す28以上になる地点がある見込みです。

気象庁の週間天気予報(5月18日発表、予報期間：5月19日～5月25日)によると、「最高気温は、九州北部以北では平年並みか平年より高い日が多く、九州南部以南では平年並みか平年より低い日が多い見込みです。最低気温は、東日本以北では平年並みか平年より高い日が多く、西日本以南では平年並みか平年より低い日が多い見込みです。」となっております^{※4}。

※4：全国の地方週間予報から気温予報の概要を編集。詳しくは気象庁ホームページの最新情報を参照願います。

○まだ暑さに体が慣れていない中、気温の変動が激しく、真夏並みに日差しが強くなる日もありますので、熱中症にお気を付け下さい。特に体調の変化に気付きにくい高齢者や子どもさんには、積極的な声かけ等をお願いいたします。

